

授業科目 助産学実習 II

【担当教員名】 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、 山口 典子、浅島 宏美		対象学年	4	対象学科	看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要】 妊娠期から産褥期にある対象者に、集団および個別の健康教育を行い、対象者の健康増進を目指した実践力を養う。					
【学習目標】 1 対象の理解に基づき、効果的な集団へのアプローチの企画・運営をする。 2 対象の理解に基づき、理論の活用をしながら産褥期における集団保健指導を実践する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1～	対象集団に対して効果的なアプローチの企画と運営 産褥期の集団保健指導	1、2 1、2	対象集団に対して健康教育を実施する、担当：下山 博子 他 実習施設の産褥期にある女性に対して、集団保健指導を実施する、 担当：下山 博子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断 とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
		助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税
参考書		助産学講座5 助産診断・技術学 I	堀内成子	医学書院	2013・3,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 看護実践内容（保健指導評価表）50%程度 企画・準備への参加態度 50%程度		【履修上の留意点】			